

4—5. ランブルストリップ施工後の区画線施工方法

ランブルストリップの施工箇所の上から区画線を施工する場合は、スプレ式（噴射式）の区画線施工方法を選択するものとする。スリット式（接地式）は、塗料がランブルストリップの凹部を埋めてしまう可能性があり、選択しないことが望ましい。

解 説

ランブルストリップの設置後に区画線を施工する場合、区画線の施工方法のうち、スリット式は、ランブルストリップの溝内の区画線が団子状（写真 4-4）もしくは、完全に埋まってしまふことがある。スリット式は、図 4-10 に示すように路面とのスリットのすきまにより塗料を路面にしごきながら塗布する塗料を流し込む工法なので、ランブルストリップ上では、溝内に塗料が多く流れ込み、団子状になることがある。

従って図 4-11 のダブルロータスプレ式、または図 4-12 のシングルロータスプレ式等の施工方法を選択することが望ましい。



写真 4-4. 溝内の団子状の区画線

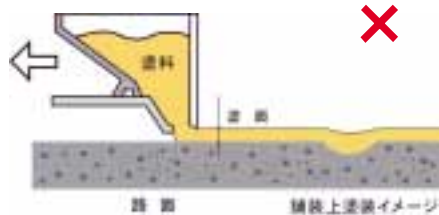


写真 4-10. 区画線の施工方法（スリット式）

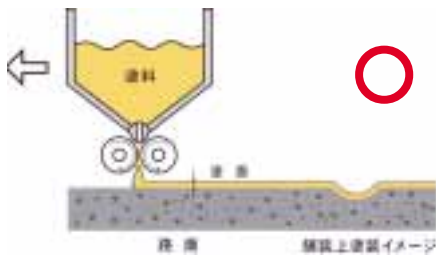


図 4-11. 区画線の施工方法
（ダブルロータスプレ式）



図 4-12. 区画線の施工方法
（シングルロータスプレ式）